

深南部 鶏冠山—池口岳周回

2016年5月15日（日）

メンバー 古橋 T 中村 Y 非会員

駐車場（4：20）

池口岳登山口前、徒歩30分の所に駐車、池口川沿い道路を渡渉点まで行く。二回渡渉しシャクナゲ登山口に取り付く。渡渉は、素足では、物凄く冷たかった。三十分は、ロスした。

シャクナゲ登山口（5：45）

登山道は、最初もろく落石をし後続は、ヒルに血を吸われ感動していた。シャクナゲ沢を通過するところで休憩をして冷たい水を頂いた。沢を後にして、大きなヒルらしき物があらわれ後ろで騒いでいた。ヒル地帯は、トップに限る。

犬切尾根までは、赤テープは、おおむね有り登りに関しては、問題なし。

犬切尾根上、シャクナゲ登山口への看板（8：00）

美しい尾根を歩いて10：40に鶏冠山北峰直下まで来た。時間に押されてトラバース道を使い鶏冠は、止めにしようと思った。でも中村君が行く気満々だったので行った。

鶏冠山 北峰（11：15）

自分は、ふらふらになりながら着いた。鶏冠山 南峰の迫力をみて次回の構想を思い描いた。頂上から、コンパスを北に振って笹ノ平に下る。疲れていたのに景色を楽しむ余裕がない。立ち枯れの笹原、

深南部のハイライトである。樹林帯を登り、池口南峰の分岐に着く。時間に押されて南峰却下。北峰は、大迫力で有った。左側面がガレ場である。

池口岳 北峰（14：25）

一年前に来た、前回は思いめぐらした。やっと下山だ。黒薙まで小ピークを繰り返して、なかなか高度が下がらずあきてきた。またガスも出てきてしまった。自分は、下り基調に限り人並みに歩けるので、池口岳からは、好調になった。でもメンバーが調子悪くなり休憩を増やして池口岳登山口に来れた。

池口岳登山口（19：15）

残留さんに、連絡をし30分かけて車に戻り、神楽の湯に入り、11時に浜松に戻った。新人中村君は、文句も言わず順調に歩いていた。フルマラソンを走る人は、やはり違う。

記 古橋